

# 1 部

学習サポート

# 11 / 13 ~ 12 / 5 の各種申込締切一覧

通信教育部では各自のペースで学習していただくことを基本としておりますが、各種の申込みは下記の日程必着でお願いいたします。

## ■全学生に関連するもの

	提出物	締切日
12月科目修了試験	レポート・ 申込みハガキ	11月22日(木)
冬期スクーリング I (12/15 ~ 1/6)	申込みハガキ	11月22日(木)
オンデマンド・スクーリング	TFU オンデマンド 画面上申込み	11月14日(水)正午 ほか本冊子 p. 38 表参照
追加履修冬期分申込み	巻末申込書	11月19日(月)

	受付日
<b>レポート</b> (レポートはいつ提出してもよいものですが、受付日の午前中到着分までについて、まとめて教員に依頼します。ひとつの提出目標として目安にしてみてください。)	11月13日(火) 11月22日(木) 12月4日(火)

## ■社会福祉援助技術演習・実習関連

	締 切 日	備 考
★■社会福祉援助技術演習A・◆演習Ⅰ スクーリング受講申込用紙 (本冊子巻末) + 1単位めレポート (スクーリング事前レポート)	2月受講希望者 →11月30日(金)	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「★■演習A」 p. 131～136 「◆演習Ⅰ」 p. 188～192 + 『試験・スクー リング 情報ブッ ク2012』 p. 30～31
★■社会福祉援助技術演習B・◆演習Ⅱ スクーリング受講申込用紙 + 1単位めレポート (スクーリング事前レポート)	12月受講希望者 →11月30日(金) ※特例受講：対象 者に <u>申込用紙を</u> <u>送付済み</u>	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「★■演習B」 p. 141 「◆演習Ⅱ」p. 196 ㊦参照
◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前) 課題1-① (実習計画案)	12/15受講希望者 →11月22日(木)	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 「◆指導」 p. 198～200 「★■演習C」 p. 143～148
★■社会福祉援助技術演習C-2 3単位めレポート	10月受講済者 →11月21日(水)	+ 『試験・スクー リング 情報ブッ ク2012』 p. 35, 37～39

## ■精神保健福祉援助演習・実習関連

	締 切 日	備 考
◆★精神保健福祉援助実習(事後) 課題 3-② (実習事後レポート)	12/1・2受講希望者 →11月14日(水)	『レポート課題集 2013(社会福祉編)』 p. 240~250
◆★精神保健福祉援助実習(事前) 課題 1-① (実習計画案)	12/16受講希望者 →12月5日(水)	
◆★精神保健福祉援助実習 受講申込み	平成25年受講希望者 →11月30日(金)	

## ■教育実習・障害者(児)教育実習・介護実習関連

	締 切 日	備 考
教育実習・障害者(児)教育実習 誓約書・健康診断書(・個人調 査票のコピー)提出	1月実習開始者 →11月15日(木)	※事前指導受講済 者のみ対象

## ■その他

### ●コミュニケーション英語(1月スクーリング受講希望者)

- ・1単位めレポート提出期限(冊子版使用者) 11月10日(土)

# 社会保障論の学び方

## ～「なぜの視点」の大切さ～

教員 MESSAGE

教授 阿部 裕二

### はじめに

通信制で学ばれている皆さん、さまざまな環境のなかでの『学問探求』お疲れさまです。私は、通信教育部において「社会保障論」および「公的扶助論」のレポート指導やスクーリングを担当していますが、今回は、大学で学ぶ上で「なぜの視点の大切さ」、を担当科目における学び方を通じて述べさせていただきます。これまで、『with』紙上で同様の内容を記載しましたが、今一度改めて述べさせていただきます。なお、公的扶助は社会保障に含むと考えられますので、社会保障（論）と一括して小論を進めていきます。

### 1 レポートのまとめ方にみえる特徴

提出されたレポートを拝見すると、多くの受講生は課題に沿ってまとめられています。ところが、教科書の要約にとどまっているレポートも多く見受けられます。また、受講生のなかには、学び方として社会保障論などの科目が国家試験の指定科目のために、受験勉強として暗記的に学んでいる方もいるかも知れません。しかし、このような視点では、学びは単なる知識の詰め込み、ひいてはその知識は記憶にだけ止まることになります。これでは、社会保障（論）などを学ぶ意義は希薄化されてしまいます。

## 2 学んで問う視点

---

皆さんが学ばれている場は「学問」の世界です。この「学問」は文字通り「学んで問う」ことなのです。レポートを作成するにも、自分なりの「問いかけ」の視点を盛り込み、教科書に留まらず、他の参考文献をフルに活用しながらその「問いかけ」にアプローチすることが重要なのであり、そのアプローチこそが大学における主体的な学びに通じるのです。「社会保障とは何か」、「その理念はどのようになっているのか」、「なぜ、私たちの社会に社会保障（社会福祉）が存在するのか」、そして「システムを求める人間とはどのような存在なのか」などの問題意識が重要だと思われます。つまり、繰り返しますが、「問いかけ」の視点が大事なのです。

## 3 政治に翻弄される社会保障をどのようにみるか？

---

唐突ですが、皆さんは「社会保障と税の一体改革」（以下、「一体改革」と略す）をご存じですか。内容の詳細は分からずとも、言葉自体はお聞きになったことがあると思います。消費税の引き上げに焦点を当てながら報道がなされてきましたが、受講生の皆さんは「一体改革」をどのような視点から考察されますか。「一体改革」において、消費税の引き上げに関する是非が問われていますが、何故なのでしょう。何が問題なのでしょう。

近年における社会保障制度改革の共通の方向性（キーワード）は「制度の持続可能性」であり、それは財政的危機感から給付と負担の均衡化を保ち、財政の安定化を図ることを意味します。税制制度の一部見直しが先行された「社会保障と税の一体改革」も、その延長線上にあると考えられます。しかし、そこには社会保障として各制度のもつ目的や守備範囲の再検討（再構築）、そして連携と包括化の視点が充分とはいえません。

### (1) 「木を見て森を見ず」

「木を見て森を見ず」あるいは「病気を診て病人（人間）を診ず」という言葉がありますが、給付と負担の関係（財政論）からみた「制度の持続可能性」という視点は、まさに「木」や「病気」の論議であると思います。勿論、その議論自体は否定されるものではありませんが、長期的な「制度の持続可能性」のためには、社会保障としての理念、目的、あるいは私達の生活実態という「森」や「生活する人間」への視野の広がりの方がより重要なのです。

### (2) 社会保障における理念の視点

社会保障制度は、疾病や失業という個人による自助努力のみでは対応できない場合や、老齢等により稼働能力が低下した場合などに、リスク分散や所得再分配という仕組みによって、人々の生活を社会全体で支え、国民の生活の安定（少なくとも「健康で文化的な最低限度の生活」）を確保するためのものと理解されます。このような社会保障の目的を達成するために公的年金や医療保険、介護保険などの諸制度があるはずですが。

しかし、「一体改革」を含めてこれまでの多くの改革は財政的視点からの側面が強く、しかも公的年金は公的年金として、医療保険は医療保険として、そして介護保険は介護保険としての改革であって、社会保障の理念に基づいた包括的かつ横断的な視点が希薄であったように思われます。社会保障にとってこれら制度は、目的に向かって如何に連携・包括すべきかが問われているのです。

「問いかけ」を続けていくと、制度政策の理念の在りようにも到達します。なぜ、このような改革が求められているのか、社会保障の理念と改革との関係性はどのようなになっているのか。そして、そもそも社会保障の理念はどうあるべきかなどの再検討が課題として直面するのです。

### (3) 目的と手段の関係

財政的視点からの個別化された制度改革は、生活実態から乖離した改革

に陥り、ひいてはわれわれに「制度にあわせた生活」を強いる危険性を孕んでいると考えます。社会保障制度の給付と負担そして財政は、あくまでも社会保障の理念、目的を実現させる手段・方法であることを認識することから始まる社会保障制度改革こそが、「生活に即した制度へ」そして長期的な「持続可能性をもった制度（システム）づくり」への第一歩となるのではないのでしょうか。このような視点から、現在の社会保障改革を評価することも可能なのです。

#### 4 「なぜ」の視点から学ぶ社会保障：おわりに

今回は、大学での学びのなかで、「問いかけ」の意義と「理念」の再考の重要性を、「一体改革」などの社会保障改革を事例にしながら考えてみました。これらは、社会保障領域に限った内容ではないと思います。今後の皆さんの学びの参考になれば幸いです。

通信制の皆さんの中には、多忙で教科書をまとめるだけで精一杯と言われる方もおられると思います。さまざまな環境の下で、しかも多忙ななかで学ばれていることは理解しつつも、「問いかけ」の重要性を今一度考えてほしいのです。与えられたレポート課題に取り組むことは、一見すると受動的な学びのようにみえますが、「問いかけ」を絶えず意識し、理念の在り方まで考察／検討することは、ひいては主体的な学びへと深化させることになるのです。是非、このような学びをレポートに反映させていただきたいと思います。

皆さんなりの願いが成就されますことを祈念しております。